

2021年4月4日  
祈りの時  
詩篇13篇1～6節

## < 13 > 指揮者のために。ダビデの賛歌

13:1 【主】よ。いつまでですか。あなたは私を永久にお忘れになるのですか。いつまで御顔を私からお隠しになるのですか。

13:2 いつまで私は自分のたましいのうちで思い計らなければならないのでしょうか。私の心には、一日中、悲しみがあります。いつまで敵が私の上に、勝ちおこるのでしょうか。

13:3 私に目を注ぎ、私に答えてください。私の神、【主】よ。私の目を輝かせてください。私が死の眠りにつかないように。

13:4 また私の敵が、「おれは彼に勝った」と言わないように。私がよろめいた、と言って私の仇が喜ばないように。

13:5 私はあなたの恵みに拠り頼みました。私の心はあなたの救いを喜びます。

13:6 私は【主】に歌を歌います。主が私を豊かにあしらわれたゆえ。

1 6節からなる短い詩篇です。1～2節、3～4節、5～6節と祈りが展開していく詩篇です。最初の1～2節には「いつまで」という言葉が4回繰り返されています。この苦しみがいつまで続くのでしょうか。祈っても祈っても解決されない苦しみから、神様は私のことを忘れられたのでしょうかと苦悶の祈りがささげられています。いつまで敵がわたしの上におごり高ぶるのでしょうかと祈っています。敵は病かもしれませんが、家族の問題かもしれませんが。問題の中でもダビデは祈っています。私たちも問題の中で、主よ、いつまでですかと祈りましょう。

2 3～4節の所では少し進展、前進があります。祈りが祈りの中で具体化しています。私に目を注ぎ、私に答えてください、私の目を明るくしてくださいと祈っています。問題が解決されなくても目を明るくして、神様の御心を分からせてください、苦難の意味や目的を教えてください、と祈っています。敵の動静に動揺しないで主をしっかりと見つめて動じないように祈っています。御心を知って、目の前の状況に左右されないように祈りましょう。

3 5～6節は祈りのゴールです。なぜですか、いつまでですかという祈りから、私はあなたの恵みにより頼ります。私の心はあなたの救いを喜びます、と勝利の祈りに高められています。たとえ病が癒されなくても、問題がそのままであっても、主との深い交わりが回復して、主に拠り頼り、救いを喜び、賛美と感謝をささげるように導いてくださいます。主に信頼する信仰が与えられるように祈りましょう。

2021年4月第1の主の日の礼拝、  
イースター礼拝です。

主は死とサタンに勝利して  
復活されました。

イエス様とつながって復活の恵みに与って  
勝利の毎日を歩みましょう。



苦難、試練の中におられる方々が  
イエス様の復活の力によって歩まれるように祈り  
ましょう。

礼拝、その他の集会が  
祝福されるように祈りましょう。

リモートで礼拝を守っておられる方々が祝福され  
るように祈りましょう。

春は変化の季節です。

あたらしく教会に来られる方々が豊かな祝福を  
受けられるように。

家族、子供たち、新しい道に進まれる

友のことを覚えて祈りましょう。

4月からの教会の様々な働き、集会も

主の恵みあふれる集会となるように祈りましょう。

# 主の祈り

天にまします我らの父よ  
願わくは御名をあげさせたまえ  
御国を来たらせたまえ  
御心の天になるごとく 地にもなさせたまえ  
我らの日用の糧を今日も与えたまえ  
我らに罪を犯すものを我らが赦すごとく  
我らの罪をも赦したまえ  
我らを試みにあわせず  
悪より救いいただいたまえ  
国と力と栄えとは  
限りなく汝のものなればなり アーメン